

2025年度

二子地区・7-1

福山市 田尻町 地内

急傾斜地崩壊対策工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=77.5m	
	吹付法枠工	A=393m ²	
	山腹水路工	L=125m	
	集水柵工	N=4箇所	
	立入防止柵工	L=80m	
	仮設工	一式	

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、急傾斜地崩壊対策工事（二子地区・7-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいます。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生が無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要の人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 任意仮設

・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。

第5節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第6節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第7節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
 - ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
 - ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第8節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和7年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。
 - (1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。
 - ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。
 - イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。
 - ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものをいう。
 - (2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
 - (5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
 - (6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。
- 2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。
 - ア 完全週休2日(土日)
 - 1 (1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。
 - イ 月単位の週休2日
 - 1 (1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

ウ 通期の週休2日

1 (1)ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

- 11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

12 土木工事（港湾工事を含む。）に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

14 土木工事については、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したとき、港湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休２日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトロラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1)

ご協力をお願いします	
週休2日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

(2)

週休2日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
(A3サイズ以上)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07. 08. 01(0)		《 凡例 》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	07 砂防・地すべり等工事		
施工地域・工事場所区分	00 補正なし		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0. 04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
砂防土工					Y1D0301 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1D030101 レベル3
	1	式			
掘削 【土質, 施工方法, 押土の有無】 【障害の有無, 施工数量】		m3			Y1D03010101 レベル4
掘削 土砂 現場制約あり					SPK25040001 00
	350	m3			単第0 -0001 表
掘削 岩塊・玉石 現場制約あり					SPK25040001 00
	60	m3			単第0 -0002 表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工					SDT00033 00
	0.4	m3			単第0 -0003 表
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK25040018 00
	14	m2			単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	21	m			SPK25040307 00 単第0 -0005 表
残土処理工	1	式			Y1D030109 レベル3
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1D03010902 レベル4
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	350	m3			SPK25040002 00 単第0 -0006 表
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	100	m3			SPK25040002 00 単第0 -0006 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	0.4	m3			SPK25040155 00 単第0 -0007 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	0.7	m3			SPK25040155 00 単第0 -0008 表
残土等処分		m3			Y1D03010903 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土受入費 土砂	350	m3			F000000100 00
建設発生土受入費 軟岩	100	m3			F000000200 00
再資源化施設受入費 Co殻(有筋)処分	0.4	m3			F000000300 00
再資源化施設受入費 As殻処分	0.7	m3			F000000400 00
法面整形工	1	式			Y1D030107 レベル3
法面整形(切土部) 【現場制約の有無, 土質】		m2			Y1D03010701 レベル4
法面整形 切土部 現場制約有り レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	310	m2			SPK25040025 00 単第0 -0009 表
法面整形 切土部 現場制約有り 軟岩I, 軟岩II, 中硬岩, 硬岩	120	m2			SPK25040025 00 単第0 -0010 表
法面工	1	式			Y1D0303 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法枠工	1	式			Y1D030303 レベル3
吹付枠 【法枠規格, 中詰材種類】		m2			Y1D03030303 レベル4
吹付枠工 梁断面_300×300 [規]250m以上500m未満	443	m			SS000185 00 単第0 -0011 表
ラス張工 [規]250m2以上500m2未満	393	m2			SS000187 00 単第0 -0012 表
モルタル吹付 【セメント種類, 吹付厚】		m2			Y1D03030201 レベル4
モルタル吹付工(枠内吹付) 厚8cm [規]250m2以上500m2未満	260	m2			SS000267 00 単第0 -0013 表
[加算額]水切りモルタル・コンクリート	1	m3			TS967 00
山腹水路工	1	式			Y1D0305 レベル2
作業土工	1	式			Y1D030401 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 【土質】		m3			Y1D03040102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK25040015 00 単第0 -0014 表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK25040015 00 単第0 -0014 表
埋戻し 【土質区分, 土質】		m3			Y1D03040103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK25040020 00 単第0 -0015 表
山腹集水路・排水路工	1	式			Y1D030501 レベル3
山腹U形側溝 【幅, 高さ, 表面Co規格】		m			Y1D03050101 レベル4
1号排水工 PU1-B300-H300	119	m			V000000101 00 単第0 -0016 表
縦排水 PU1-B300-H300	6	m			V000000102 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
縞鋼板 3.2*650*600	2	枚			V0000001021 00 単第0 -0022 表
張りコンクリート 【Co規格, Co夜間割増の有無】		m2			Y1E01010901 レベル4
防草コンクリート	34	m			V000000103 00 単第0 -0024 表
集水桝工	1	式			Y1D030507 レベル3
集水桝 【集水桝種類, 現場打材種類】 【Co規格, 基礎Co規格】		箇所			Y1D03050701 レベル4
1号集水桝 土工作業含む	4	基			V000000104 00 単第0 -0026 表
斜面对策付属物設置工	1	式			Y1D0309 レベル2
防護柵工	1	式			Y1D031016 レベル3
立入防止柵 【柵高, 作業区分】		m			Y1D03101603 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m	80	m			SPK25040255 00 単第0 -0029 表
ネットフェンス<丸パイプ型>亜鉛めっき Z-GS6, 3.2×56支柱めっき H1500	80	m			TTPCH0013 00
基礎ブロック, 鋼管基礎 基礎ブロック 金網柵 基礎碎石無し	42	基			SPK25040254 00 単第0 -0030 表
門扉 片開き 門柱高2m以下	1	基			SPK25040259 00 単第0 -0031 表
ネットフェンス用門扉<丸パイプ型> 片開W-1000, Z-GS3, 3.2×50支柱めっき H1500	1	基			TH001158 00
基礎ブロック, 鋼管基礎 基礎ブロック 門扉 基礎碎石無し	2	基			SPK25040254 00 単第0 -0032 表
アスファルト舗装工	1	式			Y1A011106 レベル3
表層(車道・路肩部) 【材料種類, 材料規格, 舗装厚, 平均幅員】		m2			Y1A01110609 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当たり平均仕上厚50mm	10	m2			SPK25040244 00 単第0 -0033 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類, 路盤材規格, 仕上り厚】		m2			Y1A01110603 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	6	m2			SPK25040237 00 単第0 -0034 表
下層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類, 路盤材規格, 仕上り厚】		m2			Y1A01110601 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	6	m2			SPK25040235 00 単第0 -0035 表
標識工	1	式			Y1A011203 レベル3
銘板 【材質, 寸法】		枚			Y1A03080501 レベル4
起終点プレート(銘板)設置	2	箇所			SHD20001 00 単第0 -0036 表
仮設工	1	式			Y1D0310 レベル2
任意仮設	1	式			Y1D031016 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
任意仮設 【作業区分】		m2			Y1D03101601 レベル4
任意仮設	1	式			V00012 00 単第0 -0037 表
任意処分費	1	式			Y1D030109 レベル3
任意処分費		m3			Y1D03010903 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
任意処分費	1	式			V00011 00 単第0 -0048 表
交通管理工	1	式			Y1D031021 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1D03102101 レベル4
交通誘導警備員B	50	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊直接工事費＊ #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
任意仮設運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
任意仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
		t			
任意仮設材運搬費					V00010 00
	1	式			単第0 -0049 表
準備費					Z0005
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ05001 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0012

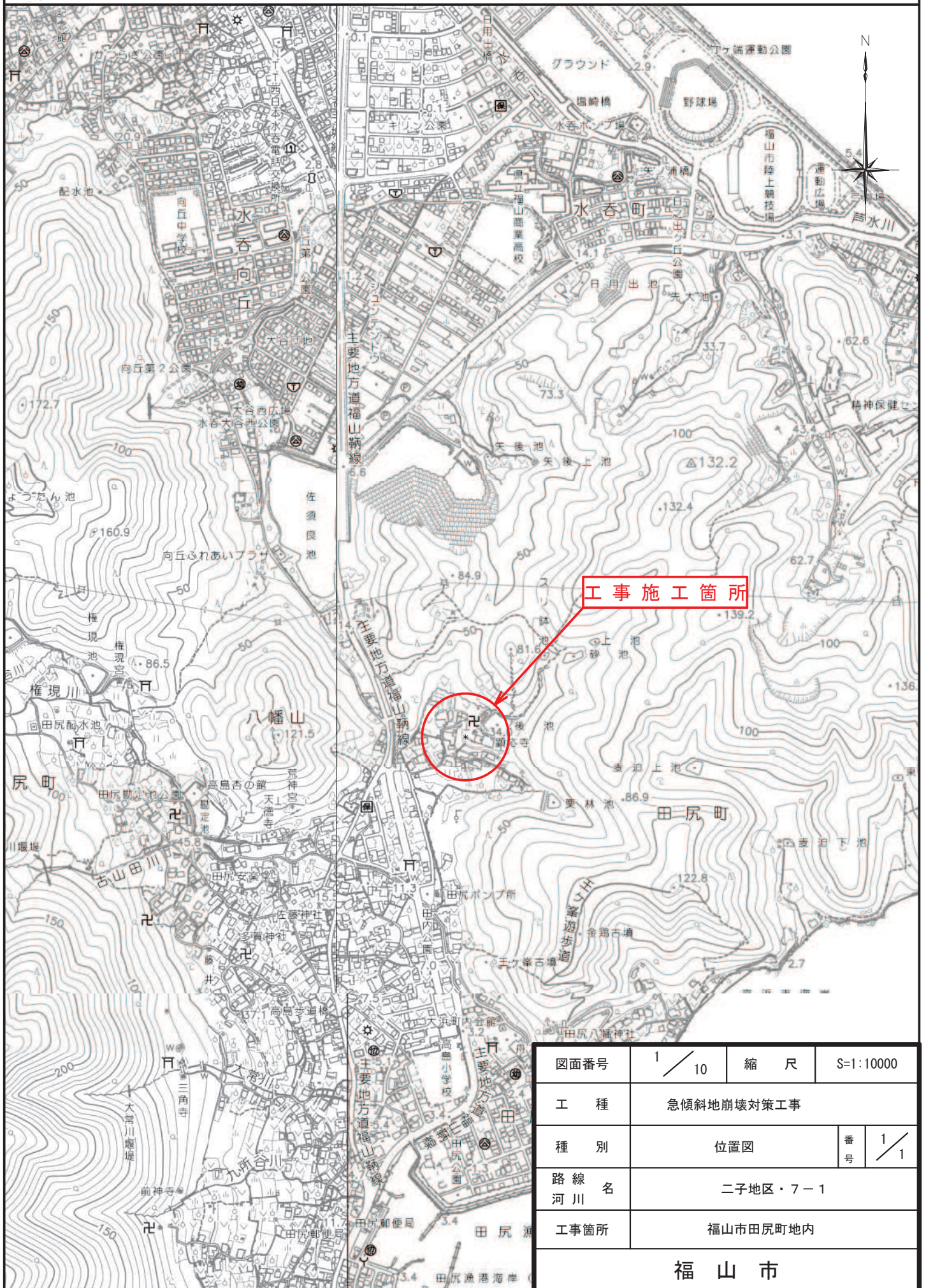
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
木根等処分費		式			YZZ05001001 レベル4
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)	393	m2			SPK25040183 00 単第0 -0053 表
運搬(伐木除根) 人力施工 DID区間有り 運搬距離23.0km以下(19.0km超)	79	m3			SPK25040189 00 単第0 -0054 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	1	式			#0047
伐採木処分費	393	m2			W0001
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊ ＊ 工事価格 ＊ ＊					
＊ ＊ 消費税相当額 ＊ ＊ 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 工事費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 契約保証費計 ＊ ＊					

位置図 S=1/10,000



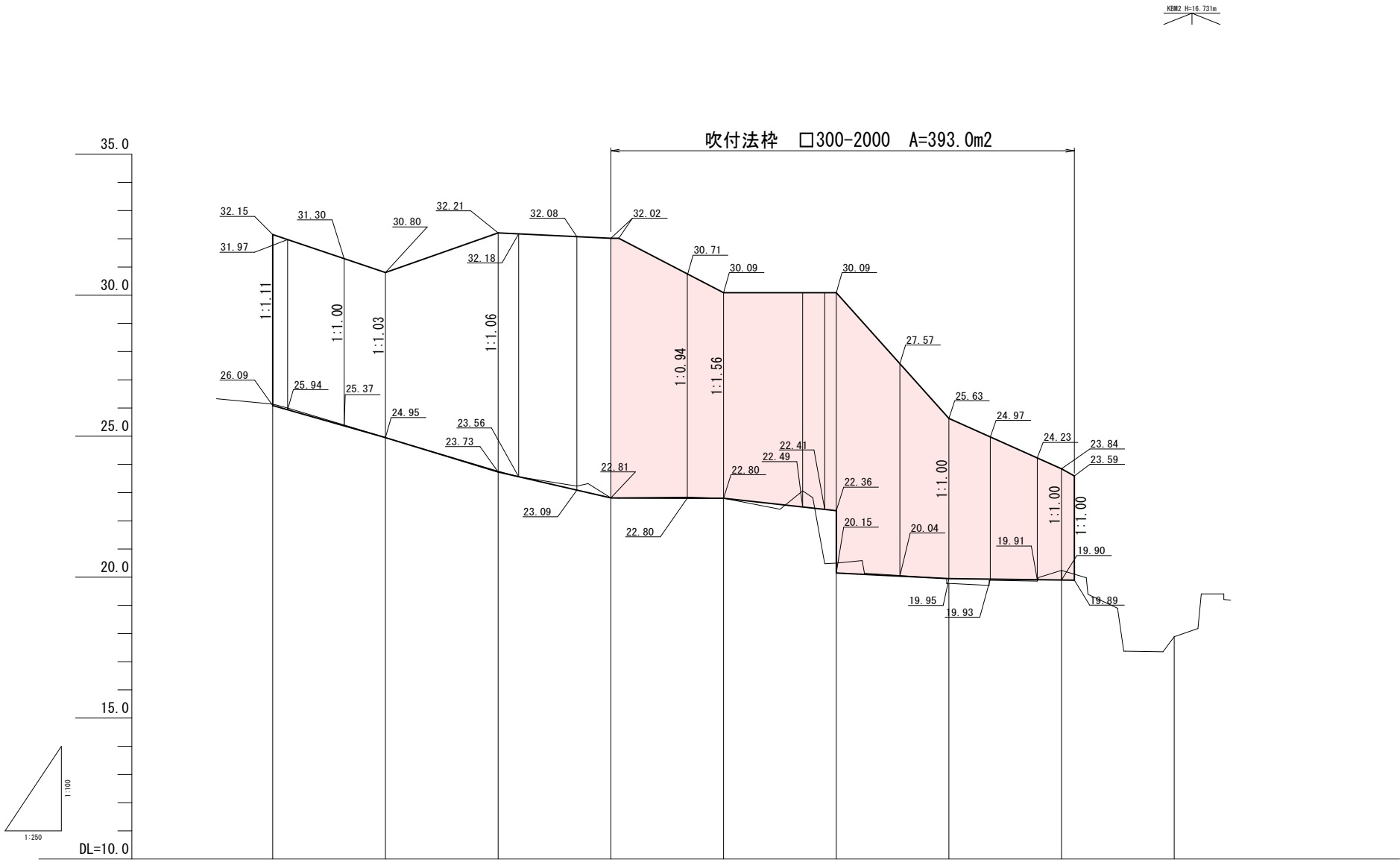
図面番号	1 / 10	縮 尺	S=1:10000	
工 種	急傾斜地崩壊対策工事			
種 別	位置図		番 号	1 / 1
路 線 名 河 川	二子地区・7－1			
工事箇所	福山市田尻町地内			
福 山 市				

S=1 : 250



図面番号	2 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	平 面 図		
路線 河川 名	二子地区・7－1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

福山市

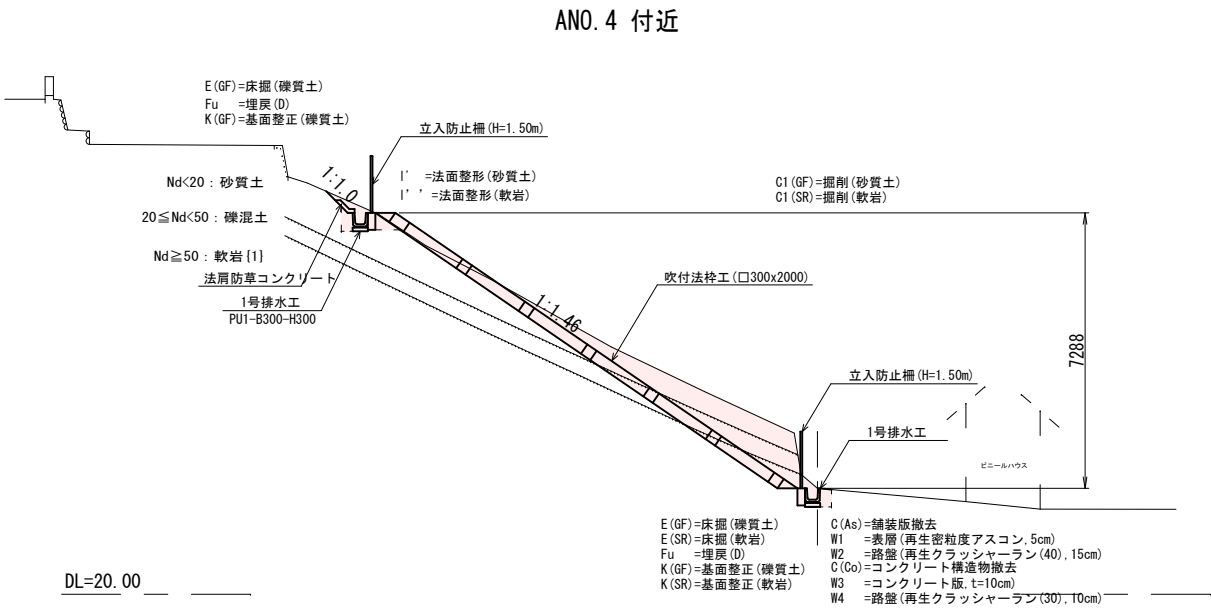
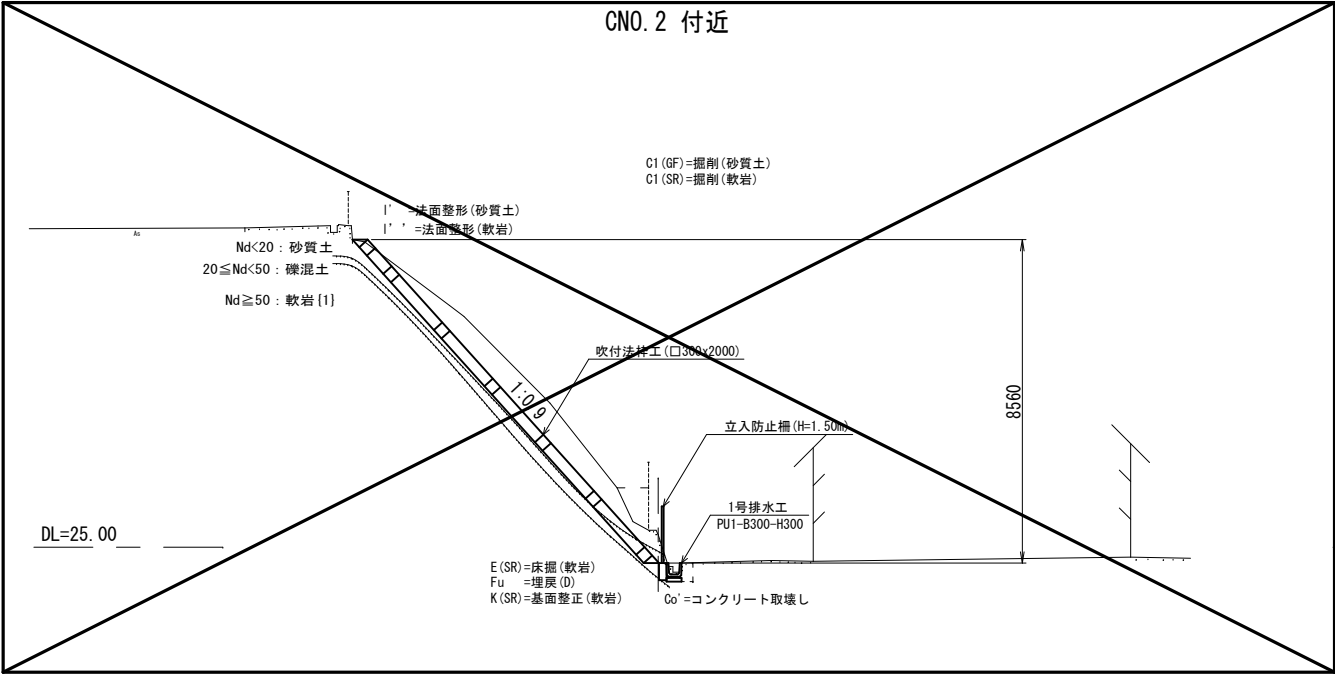
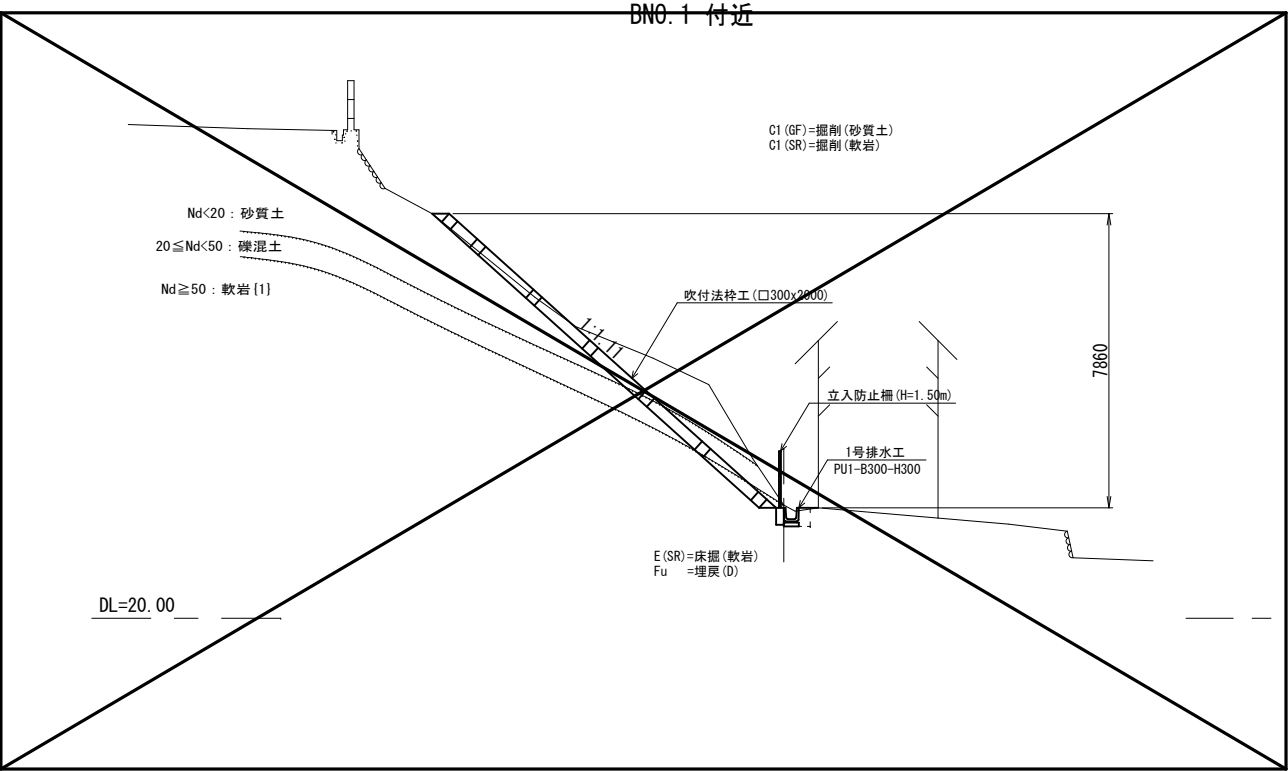


勾 配																									
天端高																									
水路底高																									
計画高				26.09																					
				26.00																					
地盤高				26.14																					
				26.00																					
追加距離				0.000																					
				1.322																					
区間距離				5.018																					
				3.632																					
測 点				2.038																					
				10.000																					
				1.820																					
				5.162																					
				3.018																					
				6.788																					
				3.212																					
				7.016																					
				1.961																					
				1.023																					
				5.644																					
				4.356																					
				3.682																					
				4.169																					
				2.149																					
				5.667																					
				4.333																					

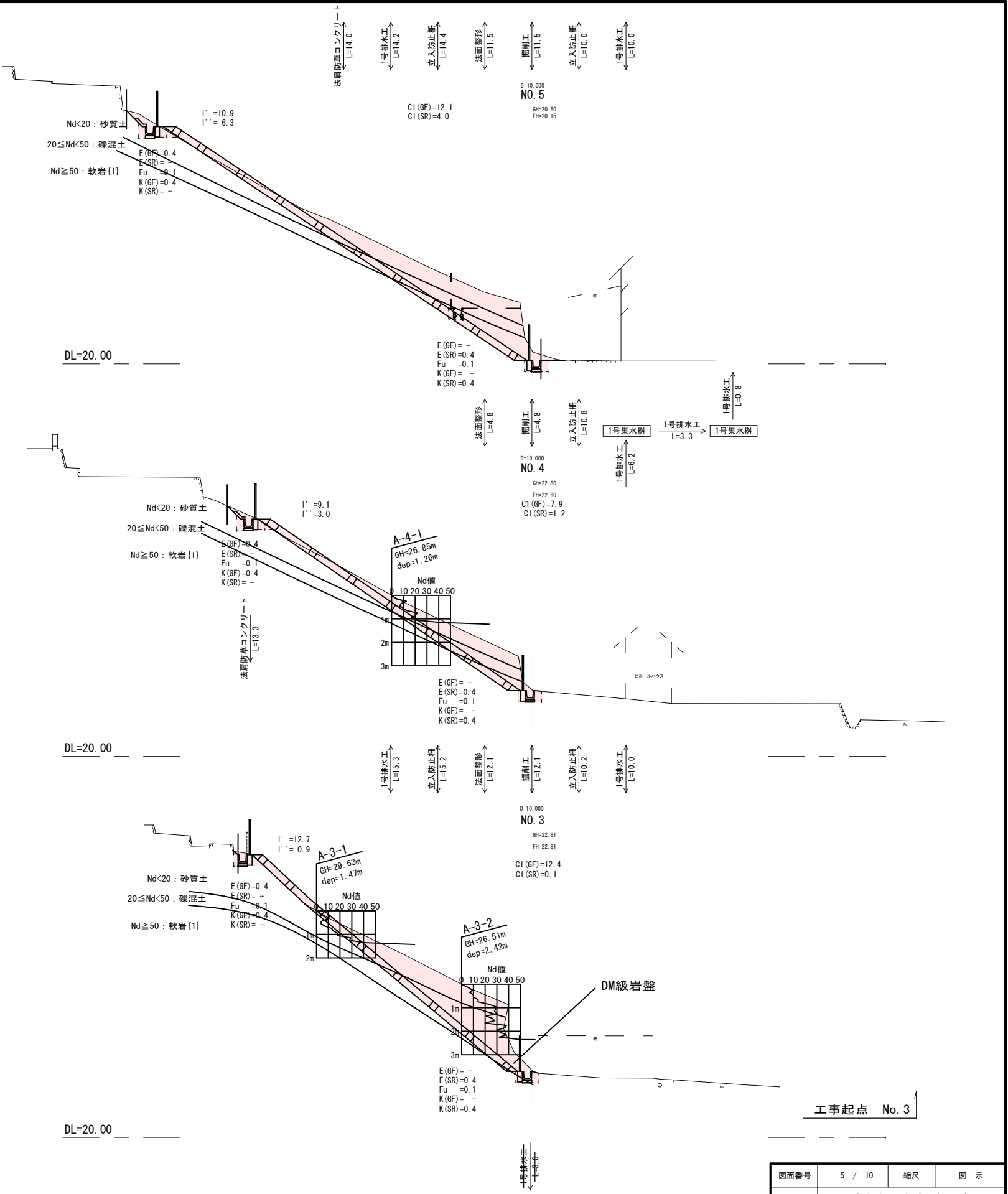
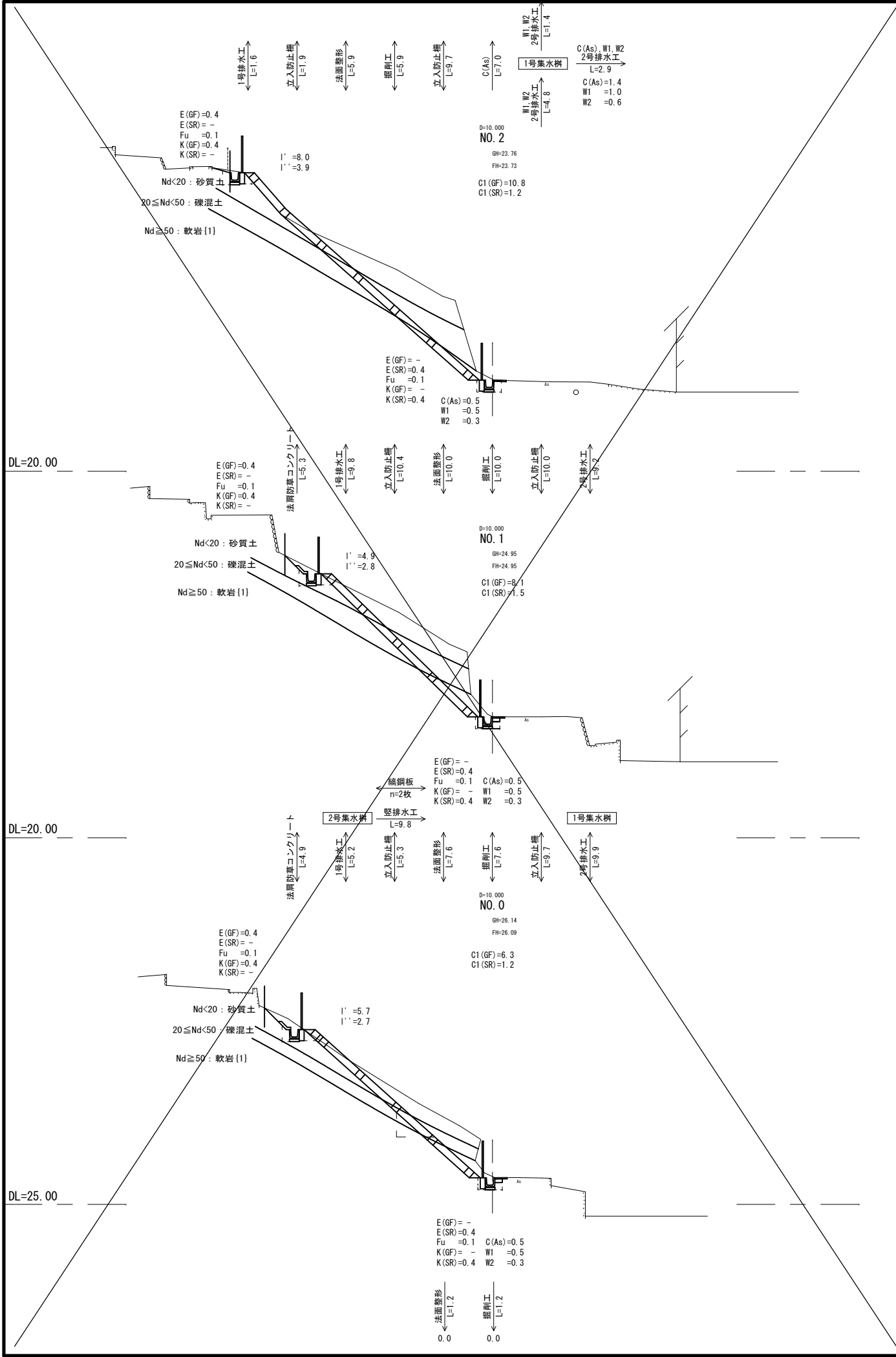
図面番号	3 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	標準断面図		
路線 河川 名	二子地区・7 - 1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

標準断面図

S=1 : 100



図面番号	4 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	標準断面図		
路線 河川 名	二子地区・7－1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

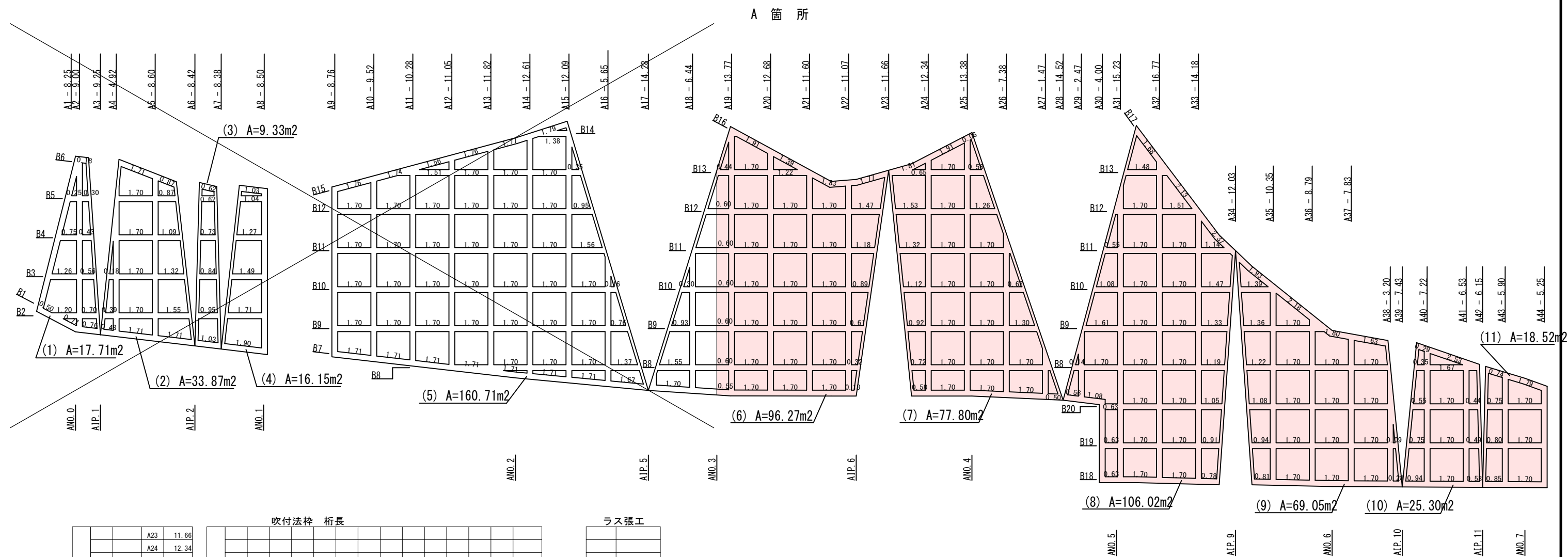


図面番号	5 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	横 断 図 (1/2)		
路線 河川 名	二子地区・7-1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			



図面番号	6 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	横 断 図 (2/2)		
路線 河川 名	二子地区・7-1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

吹付法枠工展開図(参考図) S=1:100



縦桁			A23	11.66
			A24	12.34
			A25	13.38
			A26	7.38
			A27	1.47
			A28	14.52
			A29	2.47
			A30	4.00
			A31	15.23
			A32	16.77
			A33	14.18
			A34	12.03
			A35	10.35
			A36	8.79
			A37	7.83
			A38	3.20
			A39	7.43
			A40	7.22
	A19	13.77	A41	6.53
	A20	12.68	A42	6.15
	A21	11.60	A43	5.90
	A22	11.07	A44	5.25
計		243.20 m		
縦横合計		442.52 m		

吹付法枠 桁長															
横桁															
	B7									0.55					13.60
		1.70	1.70	1.70	0.13	0.58	1.70	1.70	1.70	0.50	0.56	1.08			
	B8						0.60	1.70	1.70	1.70	0.32	0.72			26.61
		1.70	1.70	1.70	0.14	1.70	1.70	1.70	1.19	1.22	1.70	1.70			
		1.70	0.35	1.67											
	B9										0.60	1.70			21.33
		1.70	1.70	0.61	0.92	1.70	1.70	1.30	1.61	1.70	1.70	1.33			
		1.36	1.70												
	B10										0.60	1.70	1.70		19.07
		1.70	0.89	1.12	1.70	1.70	0.62	1.08	1.70	1.70	1.47	1.39			
	B11									0.60	1.70	1.70	1.70		16.69
		1.18	1.32	1.70	1.70	0.55	1.70	1.70	1.14						
	B12									0.60	1.70	1.70	1.70		14.87
		1.47	1.53	1.70	1.26	1.70	1.51								
	B13						0.44	1.70	1.22	0.65	1.70	0.58			7.77
		1.48													
	B14														
	B15														
	B16	1.91	1.39	1.83	1.77	1.81	1.91	0.06							10.68
	B17	1.68	2.13	2.37	1.93	2.18	1.80	1.63	0.29	2.53	0.74	1.79			19.07
	B18		0.63	1.70	1.70	0.78	0.81	1.70	1.70	1.70	0.28	0.94	1.70		
			0.53	0.85	1.70										16.72
	B19		0.63	1.70	1.70	0.91	0.94	1.70	1.70	1.70	0.09	0.75	1.70		
			0.49	0.80	1.70										16.51
	B20		0.63	1.70	1.70	1.05	1.08	1.70	1.70	1.70	0.55	1.70	0.44		16.40
			0.75	1.70											
計															199.32 m

ラス張工	
(6)	96.27
(7)	77.80
(8)	106.02
(9)	69.05
(10)	25.30
(11)	18.52
合計	392.96 m2

水切コンクリート
(B7+B18) × 0.036
(13.60+16.72) × 0.036 = 1.1 m3

モルタル吹付 (t=8cm)
ラス張面積 - 桁長 × 0.30
392.96 - 442.52 × 0.30 = 260.20 m2

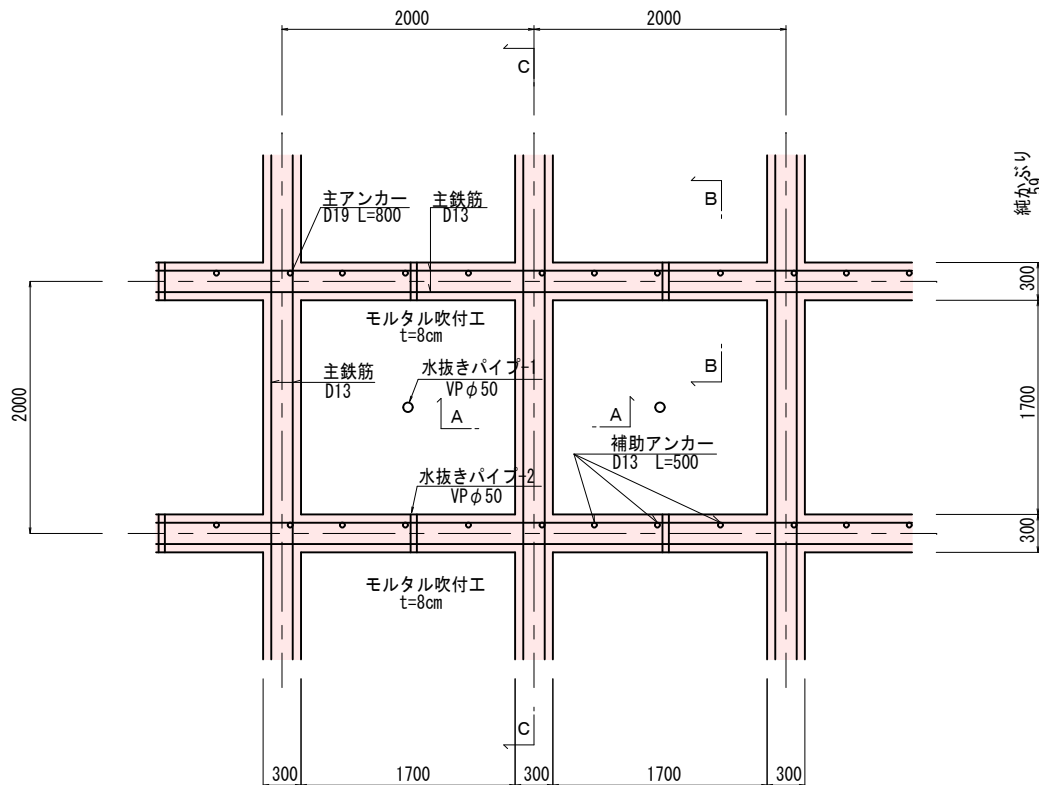
図面番号	7 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	展 開 図		
路線 河川 名	二子地区・7－1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

吹付法枠工

($\sigma=18\text{N/mm}^2$)

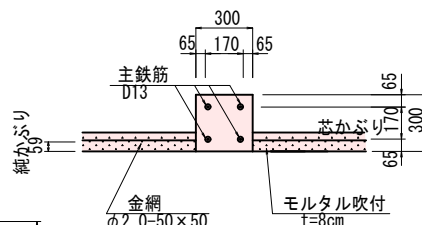
平面詳細図

S=1:30



A - A

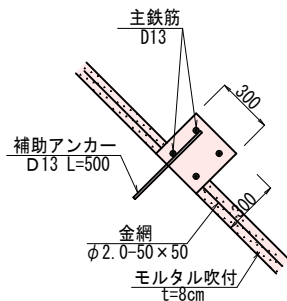
S=1:20



* 純かぶりは、59mm (57mm)

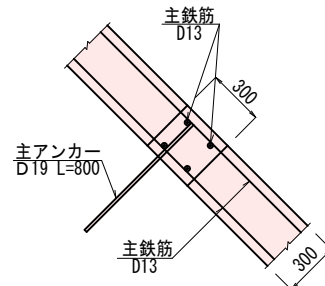
B - B

S=1:20



C - C

S=1:20



モルタル配合
セメント 420kg/m³ 以上
水セメント比 55% 以下

主鉄筋重ね継手長

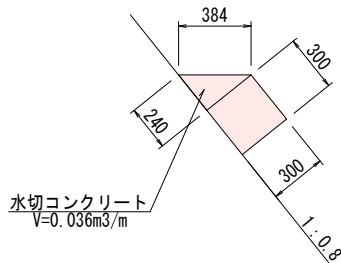
D10	300mm 以上	
D13	400mm 以上	
D16	500mm 以上	
D19	600mm 以上	

※重ね継手は上下とし、重ね箇所は互い違いとすること。

※目地は原則設けないこと。
※法面面積 2m²に 1ヶ所以上の水抜パイプ-1 (VPφ50) を設けること。
※枠内堆水防止のため縦断の低い箇所に水抜きパイプ-2 (VPφ50) を設けること。
また、枠の最下段は水切モルタル吹付とすること。
※枠内へのリバウンド飛散防止のため、シート養生をすること。
※金網の継手の重ね幅は、10cm以上とすること。
※品質管理 1週強度は4週強度の70%以上とすること。
※鉄筋はSD345を使用すること。

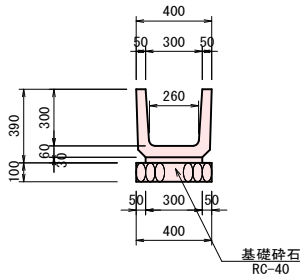
水切コンクリート

S=1:20



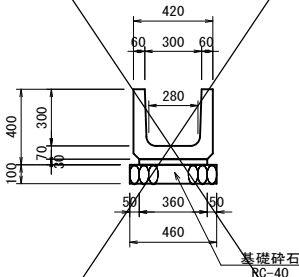
図面番号	8 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	構 造 図 (1/3)		
路線 河川 名	二子地区・7-1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

1号排水工 S=1:20
(PU1-B300-H300)



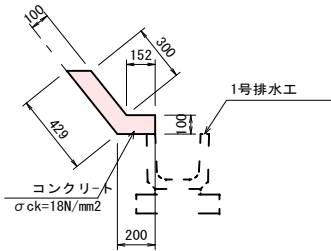
数量表 10m当り			
名 称	規 格	数 量	単位
プレキャストU型側溝	PU1-B300-H300	16.5	個
敷モルタル	1:3	0.090	m3
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.400	m3

2号排水工 S=1:20
(PU5-B300-H300)



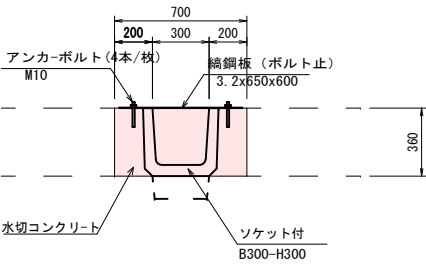
数量表 10m当り			
名 称	規 格	数 量	単位
プレキャストU型側溝	PU5-B300-H300	5.0	個
敷モルタル	1:3	0.108	m3
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.460	m3

法肩防草コンクリート S=1:20



数量表 10m当り			
名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	m2	5.405
型 枠		m2	1.000

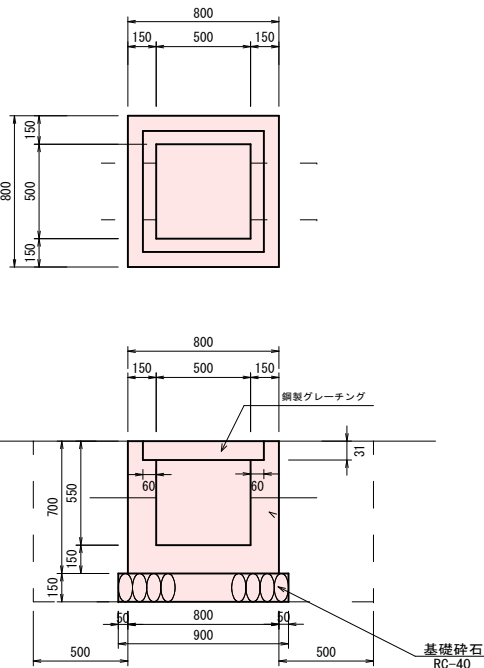
縦排水工 S=1:20
(PU1-B300-H300)



数量表 10m当り			
名 称	規 格	数 量	単位
プレキャストU型側溝	ソケット付 (溝止め) B300	16.5	個
水切コンクリート	σck=18N/mm	1.130	m3
型 枠		7.200	m2

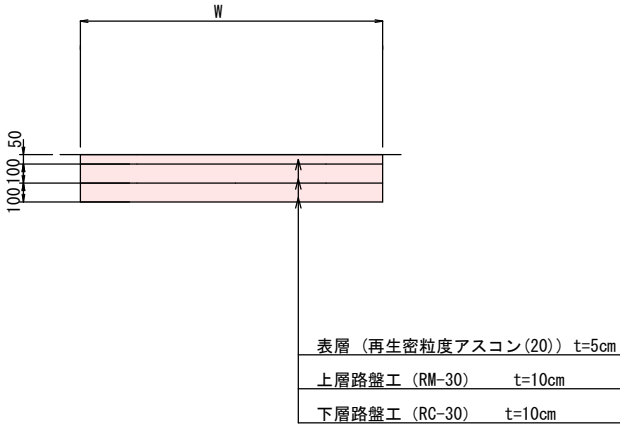
数量表 (縦鋼板)			
名 称	規 格	数 量	単位
縦鋼板	3.2×650×600	1.0	枚
アンカーボルト	M10	4.0	本

1号集水桧 S=1:20
(B500-L500-H550)



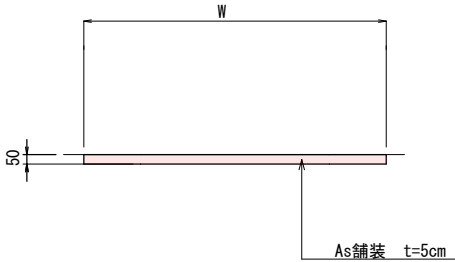
数量表 1箇所当り			
名 称	規 格	数 量	単位
コンクリート	σck=18N/mm2	0.306	m3
型 枠		3.355	m2
基礎砕石	RC-40 t=15cm	0.122	m3
グレーチング桧蓋	薄込式細目 (縦付) 500×500, T-2	1.0	組
床 掘		2.8	m3
埋 戻		2.2	m3
基面整正		0.8	m2

舗 装 工 S=1:20



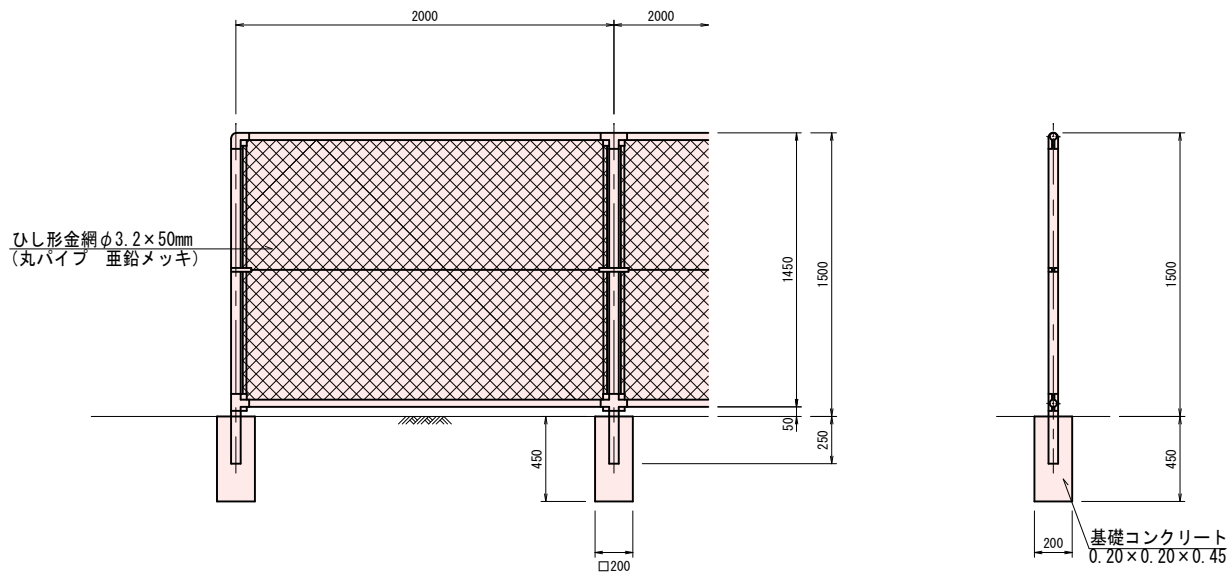
表層 (再生密粒度アスコン(20))	t=5cm
上層路盤工 (RM-30)	t=10cm
下層路盤工 (RC-30)	t=10cm

As舗装版とりこわし S=1:20



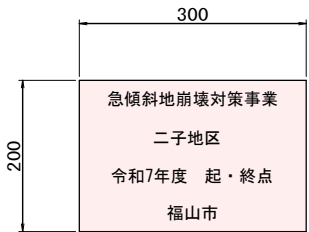
図面番号	9 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	構 造 図 (2/3)		
路線 河川 名	二子地区・7 - 1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

立入防止柵 (H=1. 50m)
S=1:20



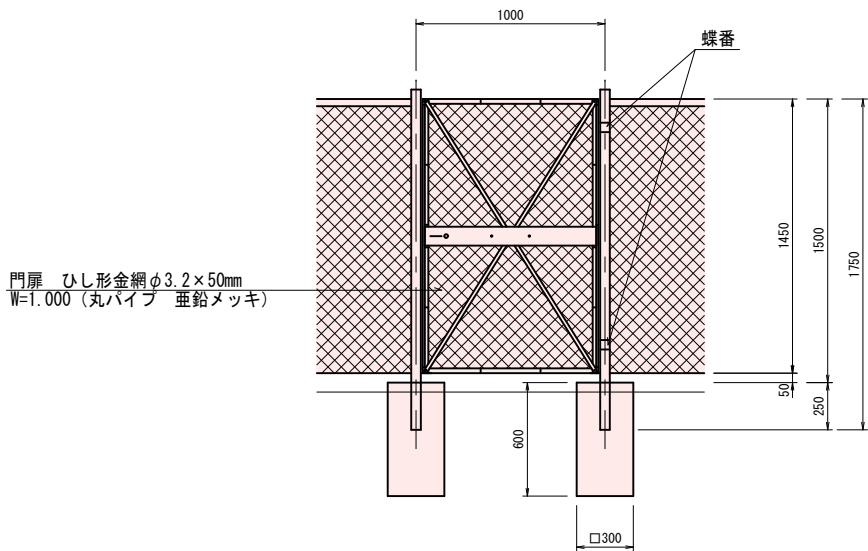
数量表				10.0m当り
名称	規格	数量	単位	
フェンス	H=1.50m	10.0	m	
コンクリート基礎	200×200×450	6.0	基	

名 版 S=1:5



材質：アルミ版
各年度の起点および終点に取り付けること。

門扉 (H=1. 50m)
S=1:20



数量表				1箇所当り
名称	規格	数量	単位	
門扉	H=1.50m	1.0	枚	
支柱		2.0	本	
コンクリート基礎	300×300×600	2.0	基	

図面番号	10 / 10	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	構 造 図 (3/3)		
路線 河川	二子地区・7-1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			

【 参 考 図 書 】

施工単価表

頁0 -0001

掘削

SPK25040001

單第0 -0001 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單価構成比: 0.00%

標準単価： 6,604.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0002

掘削

SPK25040001

單第0 -0002 表

岩塊・玉石 現場制約あり

1

m3

当り

機械構成比: 0.00%

勞務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

10,160.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0003

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0003 表

人力施工

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0004 表

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0005

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：15.05% 労務構成比：58.43% 材料構成比：26.52% 市場単価構成比：0.00%

SPK25040307
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0005 表
1 m 当り
標準単価：700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0006

鋪裝版切斷

SPK25040307

單第0 -0005 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比： 15.05% 労務構成比： 58.43% 材料構成比： 26.52% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 700.44000

[illegible]

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0006 表

現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)

1 m3 当り

機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 3,322.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 現場制約あり C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=19 距離4.0km以下(3.0km超)			B=7 人力 D=1 DID区間無し		

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0007 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23. 2km以下(18. 5km超)

1

1

m3

当り

機械構成比: 40. 77%

労務構成比: 44. 82%

材料構成比: 14. 41%

市場単価構成比: 0. 00%

標準単価:

4, 055. 00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40. 77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44. 82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	14. 41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=2 E=1 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)			B=1 D=61 機械積込 運搬距離23. 2km以下(18. 5km超)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比：20.25%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)
労務構成比：71.03%

単第0 -0008 表
材料構成比：8.72%

1
標準単価：4,319.40000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 E=1 舗装版破碎 DID区間無し -(全ての費用)			B=4 D=20 機械積込(小規模土工) 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

法面整形

切土部 現場制約有り

機械構成比：0.00%

SPK25040025

レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土

労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0009 表

1

標準単価：

m2

当り

1,715.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	87.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.64%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土			C=1 現場制約有り E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

法面整形

切土部 現場制約有り

機械構成比：0.00%

SPK25040025

軟岩I, 軟岩II, 中硬岩, 硬岩

労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0010 表

1

標準単価：

m2 当り

4,014.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	41.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	35.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	14.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 D=3 切土部 軟岩I, 軟岩II, 中硬岩, 硬岩			C=1 E=1 現場制約有り -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0012

吹付杵工

SS000185

單第0 -0011 表

梁断面 300×300 [規] 250m以上500m未満

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

ラス張工

SS000187

單第0 -0012 表

[規]250m²以上500m²未滿

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

モルタル吹付工(枠内吹付)

SS000267

單第0 -0013 表

厚8cm

[規]250m²以上500m²未満

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

床掘り

SPK25040015

単第0 -0014 表

1

m3

当り

土砂 上記以外(小規模)

機械構成比: 18.73%

労務構成比: 74.16%

材料構成比: 7.11%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂
機械構成比：8.87% 労務構成比：87.15% 材料構成比：3.98% 市場単価構成比：0.00%

SPK25040020 上記以外(小規模)

単第0 -0015 表 1 m3 当り
標準単価：4,063.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 上記以外(小規模) D=1 -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0017

埋戻し

SPK25040020

單第0 -0015 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

勞務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

1号排水工
PU1-B300-H300

V000000101

單第0 -0016 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

U型側溝

SDT00013

單第0 -0017 表

鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372)

300B[300×300×600]

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

豎排水

V000000102

單第0 -0018 表

10 m 当り

PU1-B300-H300

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

U型側溝

SDT00013

單第0 -0019 表

鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372)

300B[300×300×600]

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0020 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1 m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

37,478.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0023

コンクリート

SPK25040157

單第0 -0020 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

勞務構成比: 37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

37,478.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比：0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0021 表
標準単価：1
9,147.60000
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0025

縞鋼板

V0000001021

單第0 -0022 表

1

枚 当り

3. 2*650*600

[illegible]

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0023 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53% 材料構成比: 2.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0027

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0023 表

1

孔 当り

削孔深さ30mm以上200mm未満

機械構成比： 2.15% 勞務構成比： 95.53%

材料構成比: 2.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 684.28000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

防草コンクリート

V000000103

單第0 -0024 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0025 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1 m3 当り

機械構成比: 3.42% 労務構成比: 37.14% 材料構成比: 59.44% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 37,478.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材20(25) W/C(60%), 種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート

SPK25040157

單第0 -0025 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1 m3 当り

機械構成比： 3.42% 労務構成比： 37.14% 材料構成比： 59.44% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 37,478.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

1号集水枋

V000000104

单第0 -0026 表

1 基 当り

土工作業含む

[illegible]

施工単価表

集水桝設置
0.4m3以下

S2040007

単第0 -0027 表

50m以下

1

基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.700	人			
特殊作業員	0.500	人			
普通作業員	1.000	人			
型わく工	0.200	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	0.327	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.327	m3			
再生クラッシャーラン 40～0mm 小型車割増	0.146	m3			0.122*1.2
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準・クレーン付]山0.28m3 1.7t 排出ガス対策型2次基準	3.400	時間			単第0-0028 表
諸雑費	7	%			#09
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 0.4m3以下 C=2 18-8-40(W/C60%) 種別(高炉) E=2 小型車割増あり			B=1 50m以下 D=1 再生クラッシャーラン (RC-40) G=0.306 生コンクリート設計量(m3)		C<4時入力
H=0.122 砕石設計量 (m3) D<5時入力					

施工単価表

頁0 -0033

集水桙設置
0.4m3以下

S2040007

單第0 -0027 表

基 当 り

50m以下

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

機-1_バックホウ運転

S9006

單第0 -0028 表

クローラ[標準・クレーン付]山0.28m³ 1.7t 排出ガス対策型2次基準

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)

基礎ブロック

機械構成比：0.00%

SPK25040255

支柱間隔2m

労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0029 表

標準単価：1 m 当り

3,487.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=1 基礎ブロック -(全ての費用)			C=2 支柱間隔2m		

施工単価表

基礎ブロック, 鋼管基礎
基礎ブロック 金網柵
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 80.48% 材料構成比: 19.52% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040254

単第0 -0030 表

1
標準単価: 4,148.20000

基 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	72.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
フェンス用基礎ブロック 200×200×450mm 参考質量31kg	19.52%		基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45 (cm)		TTPC00366 TTPT00366
積算単価			積算単価		EP001
A=1 基礎ブロック D=1 基礎碎石無し			B=1 金網柵 E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

門扉
片開き
機械構成比：0.00%

SPK25040259
門柱高2m以下
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0031 表

1
標準単価：16,546.00000

基 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	73.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	24.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 片開き C=1 -(全ての費用)			B=1 門柱高2m以下		

施工単価表

基礎ブロック, 鋼管基礎
基礎ブロック 門扉
機械構成比: 12.32% 労務構成比: 74.71% 材料構成比: 12.97% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 8,079.80000

SPK25040254

単第0 -0032 表

1 基 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付・排2 山積0.11/平積0.08m3, 吊能力0.8t	12.32%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付・排2 山積0.11/平積0.08m3, 吊能力0.8t		MTPC00133 MTPT00133
普通作業員	33.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	32.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.82%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
フェンス用基礎ブロック 200×200×450mm 参考質量31kg	10.02%		基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45(cm)		TTPC00366 TTPT00366
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	2.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 基礎ブロック D=1 基礎碎石無し			B=2 門扉 E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0039

表層(車道・路肩部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

機械構成比: 0.43%

SPK25040244

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0033 表

1

標準単価:

m2

当り

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0033 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2

当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=6 G=2 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(20) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0041

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0034 表

RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り
機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
〈賃〉ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
〈賃〉タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制) 普通・超低騒音	0.99%		〈賃〉タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0034 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2

当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm 小型車割増	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0043

下層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.72%

労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

RC-30

SPK25040235

単第0 -0035 表

1

標準単価:

m2

1,289.30000

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
〈賃〉ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
〈賃〉タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制) 普通・超低騒音	0.49%		〈賃〉タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.72%

労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,289.30000

RC-30

SPK25040235

単第0 -0035 表

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30～0mm 小型車割増	74.21%		クラッシャー 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0045

起終点プレート(銘板)設置

SHD20001

單第0 -0036 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

任意仮設

V00012

單第0 -0037 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

仮設防護柵工
H型鋼 15×15×0.7×600

V0111

単第0 -0038 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主柱 材料損料率20%	0.700	t			単第0-0039 表
規格エキストラ 材料損料率20%	0.700	t			単第0-0040 表
横梁 材料損料率20%	0.274	t			単第0-0041 表
土留板 材料損料率70%	1.44	m3			単第0-0042 表
雑材料	10	%			#06
とび工	5.3	人			
普通作業員	8.9	人			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0048

主柱
材料損料率20%

SHD20023

單第0 -0039 表

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

規格エキストラ

SHD20023

單第0 -0040 表

材料損料率20%

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

横梁
材料損料率20%

SHD20023

單第0 -0041 表

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

土留板
材料損料率70%

SHD20023

單第0 -0042 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

コンクリート基礎

V000000106

單第0 -0043 表

5 個 当り

仮設防護柵(タイプⅦ)

$$600 \times 600 \times 800$$
[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0044 表

1

m3

当り

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 46.18%

材料構成比: 53.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

40,190.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	28.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.40%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	53.82%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

箱抜き
型枠各種
機械構成比：0.00%

SPK25040261

単第0 -0045 表

1
標準単価：817.75000

m 当り

労務構成比：62.13%

材料構成比：37.87%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
円形紙管 250×4.2	37.87%		円形型枠 内径100×2.7×4,000(mm)		F0000000002 TTPT00385
積算単価			積算単価		EP001
A=6 C=1 型枠各種 -(全ての費用)			B=2 【F】円形型枠(m)		

施工単価表

頁0 -0055

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0046 表

人力施工

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0047 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23. 2km以下(18. 5km超)

1

1

3, 317. 70000

機械構成比: 40. 77%

労務構成比: 44. 82%

材料構成比: 14. 41%

市場単価構成比: 0. 00%

標準単価:

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40. 77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44. 82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	14. 41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)		B=1 D=61	機械積込 運搬距離23. 2km以下(18. 5km超)	

施工単価表

頁0 -0057

任意処分費

V00011

單第0 -0048 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

任意仮設材運搬費

V00010

單第0 -0049 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0059

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 8km	製品長 12m以内

單第0 -0050 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0060

基本運賃

S1000009

单第0 -0051 表

運搬距離 8km

製品長 12m以内 運搬質量 4.619t

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0061

積込み, 取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0052 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

伐木・伐竹(伐木除根)

SPK25040183

単第0 -0053 表

1

m2

当り

伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)

標準単価:

125.84000

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	56.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	22.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)			B=1-(全ての費用)		

施工単価表

運搬(伐木除根)

SPK25040189

単第0 -0054 表

人力施工 DID区間有り

運搬距離23.0km以下(19.0km超)

1

3

m3

当り

機械構成比: 21.60%

労務構成比: 69.98%

材料構成比: 8.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,013.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	21.60%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.98%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.42%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 人力施工 D=53 運搬距離23.0km以下(19.0km超)			C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)		

設計数量内訳書								A箇所
工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	備 考
急傾斜地崩壊対策								
	土工	掘削工						
			人 力					
				礫質土	m3	348.1	350	
				軟 岩	m3	64	60	
			コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m3	0.4	0.4	
			舗装版取壊し	アスファルト t=5cm	m2	14.4	14	
			As舗装版切断	t=5cm	m	20.5	21	
		残土処理工						
			礫質土		m3	349.7	350	
			軟 岩		m3	96.1	100	
			鉄筋コンクリート		m3	0.4	0.4	
			アスファルト		m2	14.4	14	14.4*0.05=0.72m3
		法面整形工	法面整形					
				礫質土	m3	313.0	310	
				軟 岩	m3	117.2	120	
	法面工	法枠工						
			吹付枠	300×300 吹付モルタル, H≦40	m	442.5	443	□300×2000
				ラス張	m2	393.0	393	
			枠内吹付	モルタル吹付 t=8cm H≦40	m2	260.2	260	
			水切コンクリート	18N/mm2	m3	1.1	1	
	排水 構造物工	作業土工						
			床 掘	礫質土	m3	24.6	20	
				軟 岩	m3	32.1	30	
			埋 戻		m3	20.7	20	
			基面整正	礫質土	m2	24.6	20	
				軟 岩	m2	26.1	30	

設計数量内訳書								A箇所
工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	備 考
		排水工						
			1号排水工	PU1-B300-H300	m	119.0	119	
			縦排水工	PU1-B300-H300	m	6.2	6	
			縞鋼板		枚	2.0	2	
			防草コンクリート	18N/mm2	m	34.3	34	
		集水桝						
			1号集水桝	B500-L500-H500	箇所	4.0	4	
	防護柵工	立入防止柵	H=1.5m		m	80.2	80	
			基礎ブロック		基	42.0	42	
		門扉	H=1.5m,W=1.0m		基	1.0	1	
			基礎ブロック		基	2.0	2	
	舗装工	アスファルト舗装工						
			表層	再生密粒度アスコン t=5cm W<1.4m	m2	10.3	10	
			上層・下層路盤		m2	6.2	6	
	標識工	プレート設置	起終点		枚	2.0	2	
	仮設工	任意仮設						
			仮設防護柵	タイプⅦ,H=4.0m	m	46.0	46	
			基礎ブロック		個	24.0	24	
			構造物取壊し	無筋	m3	6.9	7	
		任意処分費	コンクリート殻(無筋)	運搬処分	m3	6.9	7	
		運搬工	仮設防護柵		t	4.619	4.619	
準備費								
	準備費	準備費	木根処分費	伐木(伐木除根)	m2	393.0	393	伐採木面積当り 容量:0.2m3/m2
				運搬	m3	78.6	79	
				処分	m2	393.0	393	

土工数量総括表

A箇所

[illegible]

A箇所

[illegible]

[illegible]

掘削 人力		土工数量計算書						A箇所			
種 別 番 号	距 離	C (Co鉄)			C (As)			As舗装版切断			摘 要
		断面	平 均	数 量	断面	平 均	数 量			m	
ANO. 0											
ANO. 1											
ANO. 2											
ANO. 3											
ANO. 4	12.1										
ANO. 5	4.8										
ANO. 6	11.5										
ANO. 7	9.3										
	1.5										
	1.0										
ANO. 8		0.02	—	—	0.7	—	—				
	20.50	0.02	0.02	0.4	0.7	0.70	14.4			20.5	

法 面 工 数 量 総 括 表

A箇所

[illegible]

排水構造物工 数量総括表

A箇所

[illegible]

作業土工 排水工 土工数量計算書 1号排水工 A箇所											
種 別 番 号	距 離	床掘 礫質土E(GF)			埋戻し Fu(D)			基面整正 礫質土K(GF)			摘 要
		断面	平 均	数 量	断面	平 均	数 量	断面	平 均	数 量	
上部											
ANO. 0											
ANO. 1											
2号集水桝											
ANO. 2											
ANO. 3		0.4	—	—	0.1	—	—	0.4	—	—	
ANO. 4	15.3	0.4	0.40	6.1	0.1	0.10	1.5	0.4	0.40	6.1	
ANO. 5		0.4	—	—	0.1	—	—	0.4	—	—	
ANO. 6	14.2	0.4	0.40	5.7	0.1	0.10	1.4	0.4	0.40	5.7	
ANO. 7	8.6	0.4	0.40	3.4	0.1	0.10	0.9	0.4	0.40	3.4	
	1.1	0.4	0.40	0.4	0.1	0.10	0.1	0.4	0.40	0.4	
1号集水桝				2.8			2.2			0.8	
下部											
ANO. 8付近		0.3	—	—	0.1	—	—	0.4	—	—	
	20.5	0.3	0.30	6.2	0.1	0.10	2.1	0.4	0.40	8.2	
合 計				24.6	m3		8.2	m3		24.6	m2

作業土工		排水工		土工数量計算書			1号排水工			A箇所	
種 別 番 号	距 離	床掘 軟岩E(SR)			埋戻し Fu(D)			基面整正 軟岩K(SR)			摘 要
		断面	平 均	数 量	断面	平 均	数 量	断面	平 均	数 量	
下部											
ANO. 3		0.4	—	—	0.1	—	—	0.4	—	—	
ANO. 4	10.0	0.4	0.40	4.0	0.1	0.10	1.0	0.4	0.40	4.0	
	6.2	0.4	0.40	2.5	0.1	0.10	0.6	0.4	0.40	2.5	
1号集水桝				2.8			2.2			0.8	
		0.4	—	—	0.1	—	—	0.4	—	—	
	3.3	0.4	0.40	1.3	0.1	0.10	0.3	0.4	0.40	1.3	
1号集水桝				2.8			2.2			0.8	
		0.4	—	—	0.1	—	—	0.4	—	—	
ANO. 5	0.8	0.4	0.40	0.3	0.1	0.10	0.1	0.4	0.40	0.3	
ANO. 6	10.0	0.4	0.40	4.0	0.1	0.10	1.0	0.4	0.40	4.0	
ANO. 7	10.0	0.4	0.40	4.0	0.1	0.10	1.0	0.4	0.40	4.0	
	1.0	0.4	0.40	0.4	0.1	0.10	0.1	0.4	0.40	0.4	
1号集水桝				2.8			2.2			0.8	
		0.4	—	—	0.1	—	—	0.4	—	—	
ANO. 8	18.0	0.4	0.40	7.2	0.1	0.10	1.8	0.4	0.40	7.2	
合 計				32.1	m3		12.5	m3		26.1	m2

排水工 延長調書

A箇所

1号排水工(下部)			1号排水工(上部)		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
ANo. 0 ~ ANo. 1			ANo. 0 ~ ANo. 1		
ANo. 1 ~ ANo. 2			ANo. 1 ~ ANo. 2		
ANo. 2 ~ ANo. 3			ANo. 2 ~ ANo. 3		
ANo. 3 ~ ANo. 4	10. 0		ANo. 3 ~ ANo. 4	15. 3	
ANo. 4 ~	6. 2		ANo. 5 ~ ANo. 6	14. 2	
~ ANo. 5	4. 1	3. 3+0. 8	ANo. 6 ~ ANo. 7	8. 6	
ANo. 5 ~ ANo. 6	10. 0		ANo. 7 ~ ANo. 7+1. 1	1. 1	
ANo. 6 ~ ANo. 7	10. 0				
ANo. 7 ~ ANo. 8	19. 0	1. 0+18. 0			
ANo. 8 ~	20. 5				
計	79. 8		計	39. 2	
			下部上部合計	119. 0	m

排水工 延長調書

A箇所

縦排水工			防草コンクリート		
測 点	延 長	縞鋼板	測 点	延 長	縞鋼板
ANo. 1			ANo. 0 ~ ANo. 1		
ANo. 7+1. 1	6. 2	2. 0	ANo. 1 ~		
			~ ANo. 4	13. 3	
			ANo. 5 ~ ANo. 6	14. 0	
			ANo. 6 ~ ANo. 7	5. 9	
			ANo. 7 ~ ANo. 7+1. 1	1. 1	
	m	枚			
計	6. 2	2. 0	計	34. 3	m

排水工 延長調書

1号集水桝					
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
ANo. 1					
ANo. 2+5. 0付近					
ANo. 5	2. 0				
ANo. 7+1. 1	2. 0				
計	4. 0	個	計		個

防護柵工 数量総括表

A箇所

[illegible]

立入防止柵 延長調書

A箇所

下部			上部		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
ANo. 0 ~ ANo. 1			ANo. 0 ~ ANo. 1		
ANo. 1 ~ ANo. 2			ANo. 1 ~ ANo. 2		
ANo. 2 ~ ANo. 3			ANo. 2 ~ ANo. 3		
ANo. 3 ~ ANo. 4	10.2		ANo. 3 ~ ANo. 4	15.2	
ANo. 4 ~ ANo. 5	10.8		ANo. 5 ~ ANo. 6	14.4	
ANo. 5 ~ ANo. 6	10.0		ANo. 6 ~ ANo. 7	8.7	
ANo. 6 ~ ANo. 7	9.9		ANo. 7 ~ ANo. 7+0.9	0.9	
ANo. 7 ~ ANo. 7+0.1	0.1				
計	41.0		計	39.2	
			下部上部合計	80.2	m

門扉 延長調書

A箇所

下部					
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
ANo. 7+0.1	1.0				
計	1.0	基			

舗装工 数量総括表

A箇所

[illegible]

舗装工				アスファルト舗装工数量計算書				A箇所			
種 別 番 号	距 離	表 層			上層・下層路盤						摘 要
		W1	平 均	数 量	W2	平 均	数 量				
上部											
ANO. 0											
ANO. 1											
2号集水桧											
ANO. 2											
ANO. 3											
ANO. 4											
ANO. 5											
ANO. 6											
ANO. 7											
ANO. 8		0.5	—	—	0.3	—	—				
	20.5	0.5	0.50	10.3	0.3	0.30	6.2				
							</				

仮設工 数量 総括表

A箇所

[illegible]

仮設防護柵 延長調書

A箇所

測 点			延 長	摘 要	測 点			延 長	摘 要
ANO. 0 ~ ANO. 7			46. 0						
計			46. 0	m					

延長調書

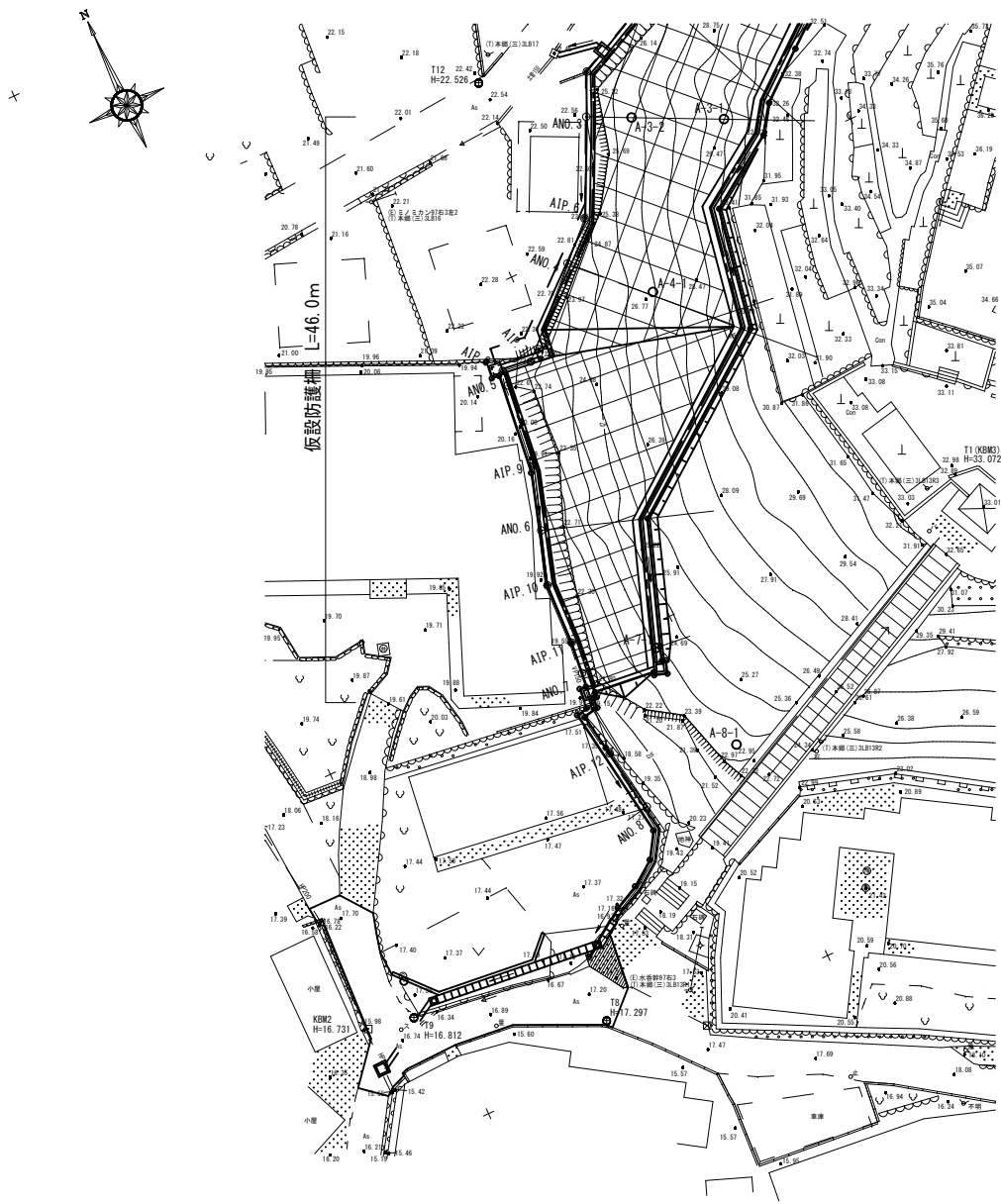
左 側			右 側		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
計		m			
			左右合計		m

参 考 図

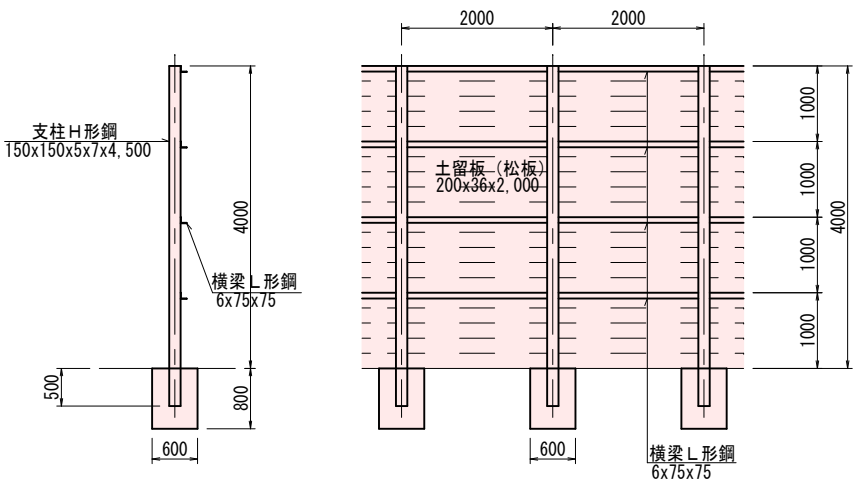
任 意 仮 設

平 面 図

S=1:250



S=1:50



数量表 10.0m当り			
名 称	規 格	数 量	単 位
支 柱	H形鋼 150x150x5x7x4,500	5.0	本
横 梁	L形鋼 6x75x75	20.0	個
土 留 板	松板 200x36x2,000	100.0	本
基 礎 工	600×600×800	5.0	基

基礎工 数量表 5基当り			
名 称	規 格	数 量	単 位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	1.440	m ³
基礎型枠	小 型 {1}	9.60	m ²
箱抜き工	型枠D250	2.5	m

図面番号	1 / 1	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	任意仮設図		
路線 河川 名	二子地区・7 - 1		
工事箇所	福山市 田尻町 地内		
福 山 市			